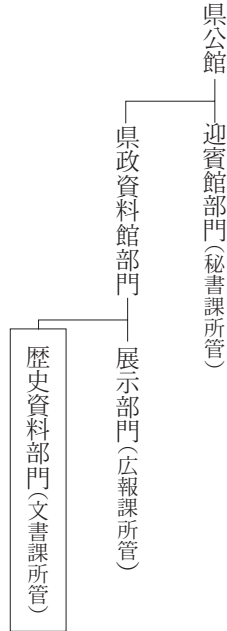


1 施設

(1) 県公館の施設区分



(2) 歴史資料部門各室面積

区分	面積 (㎡)	備考
閲覧室	51.8	8席
展示室	112.0	県政資料館「展示室1」部分
書庫	399.0	書架延長 3,284m
事務室等	102.4	
計	665.2	県公館全体 9,651.4㎡

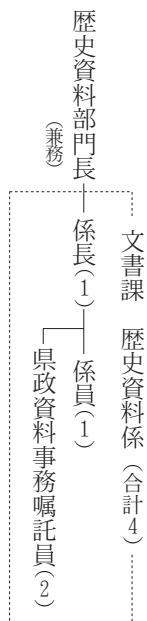
2 収蔵資料

収蔵資料の内訳 (平成22年3月末現在)

区分	収蔵数	年代	内容
文 書 資 料	歴史的 公文書	29,123	慶応4 ～平成19
			県庁文書 (28,834冊、うち、震災関連 15,629冊) 郡役所文書 (289冊、宍粟・神崎等)
	公報等	2,600	明治5 ～平成20
			県布達 (複製629冊、明治5～明治19年) 県報及び県公報 (348冊、明治23～平成 10年度) 官報 (1,623冊、明治16～平成20年度)
刊行物	32,675	近世 ～現代	古書籍、行政資料、自治体史、史料集、 研究紀要、他機関の資料目録、日本史 関係書籍等
県史収集 史料等	10,912	古代 ～近代	原史料 (5,260点、但馬国絵図・平福大 庄屋文書・猪子家文書等、近世～近代) 複製史料 (5,652冊、東京大学史料編纂 所影写本・東寺百合文書・兵庫県史料 等、古代～近代)
その他資料	約7,000	考古 ～現代	写真史料 (約7,000点、考古～現代、『兵 庫県史』掲載写真等) 伊藤博文酒杯、県高札 (兵庫、豊岡)、 神崎郡役所門標等

3 運営組織

県政資料館（歴史資料部門）は、歴史資料部門長以下、企画県民部管理局文書課歴史資料係で運営している。



4 主な業務

(1) 歴史的公文書等の選別・引継ぎ

「歴史的文化的価値を有する文書等の選別及び引継ぎに関する要綱」に基づき、県が作成・取得した歴史的公文書等を受け入れた。

また、「県が保有する震災関連資料・記録取扱要領」に基づき、阪神・淡路大震災に関連して県が作成・取得した公文書を受け入れた。

(2) 第13回県政資料館収蔵資料特別展示

県政資料館の展示室において、収蔵資料を県民等に紹介するため、テーマを設けて特別展示を開催した。テーマ 後世に伝える阪神・淡路大震災の記録―震災関連文書―

歴史的公文書等引継ぎ・受入れ状況

(単位：冊・点)

資料区分		年度						累計
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	
歴史的 公文書	一般	546	619	500	355	153	98	13,494
	震災	4,076	18	167	409	102	94	15,629
	計	4,622	637	667	764	255	192	29,123
公 報 等		44	43	31	27	30	31	2,600
刊 行 物		403	1,452	3,137	1,595	690	△10,631	32,675
県史収集史料等		739	0	385	0	1	2	10,912
合 計		5,808	2,132	4,220	2,386	976	△10,406	75,310

期間 平成22年1月5日(火)～2月27日(土)

会場 兵庫県公館県政資料館 展示室1

内容 震災に関連する公文書のうち、被災状況を記録するために撮られた写真、被災状況報告など被災当時の様子が伺える資料を展示。また、兵庫県が制度提案を行い、国の被災者生活再建支援制度や、今日の兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)の制定に至った住宅再建に係る公文書も併せて展示した。

(3) 県政資料館巡回展示

県政資料館から離れた地域にお住まいの方にも、気軽に資料を見ていただけるよう、地域の施設を利用して巡回展示を開催した。

テーマ 震災資料の15年

期間 平成21年10月17日(土)～11月15日(日)

会場 北淡震災記念公園野島断層保存館

内容 県政資料館で収蔵している震災に関連する公文書のうち、被災直後の災害援護、復旧・復興の過程を通じて作成された淡路地域に関する公文書の一部を展示した。

県民等に兵庫県の歴史を身近に感じていただくため、兵庫県史セミナーを開催した。

テーマ 近代兵庫県の産業と社会

開催日 平成21年9月8日(火)、9月15日(火)

会場 神戸生活創造センター 4階 創作工房

講師 伏谷 聡氏(同志社大学文学部非常勤講師、兵庫県公館県政資料館嘱託員)

参加者 延べ70人

内容 兵庫県は、兵庫(神戸)の国際貿易港としての海港とともに、近代化への第一歩を踏み出し、その後、県の産業は、第十三代兵庫県知事服部一三の時代に成熟期を迎える。産業の近代化は同時に、県に新しい状況や問題をもたらした。セミナーでは刊行物、写真等の資料を紹介しながら、近代兵庫県の産業と社会について解説した。

(5) 歴史資料解説講座

収蔵資料のうち、近世から近代までの特色ある三種の資料(平福村大庄屋文書、服部一三知事関係資料、明治期の公文書)を紹介、解説した。

(4) 兵庫県史セミナー

開催日 平成22年2月9日(火)、2月16日(火)、

2月23日(火)

会場 神戸生活創造センター 4階 創作工房
 講師 伏谷 聡氏 (同志社大学文学部非常勤講師、兵
 庫県公館県政資料館嘱託員)
 参加者 延べ68人

5 利用

収蔵する歴史的公文書等を県民等の利用に供した。

■ 開館時間 午前9時～午後5時

■ 休館日 土曜日(展示室は利用可。ただし、午前10時～

午後4時)、日曜日、祝日、年末年始

■ 写しの交付 1枚10円

■ ホームページアドレス

http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa13/pa13_000000005.html

兵庫県のホームページ(<http://web.pref.hyogo.lg.jp>)

の上部に表示されるメニューから「県政情報・統計」↓

「情報公開」↓「歴史資料」と順番にクリックして表示

される「兵庫県公館県政資料館(歴史資料部門)」につい

て「からも御覧いただけます。

利用状況

区 分		年 度					
		H16	H17	H18	H19	H20	H21
閲 覧 等 利 用	閲覧者等 (人)	222	226	257	190	198	179
	一 般	137	123	159	95	74	76
	県職員	85	103	98	95	124	103
	閲覧等資料 (冊・点)	1,529	1,129	1,231	1,184	843	1,339
	公文書	334	146	224	233	263	623
	公報等	496	379	446	398	124	363
	刊行物	585	561	461	455	443	186
県史収集史料等	114	43	100	98	13	167	
	レファレンス (件)	55	40	55	114	116	59
	展示利用者 (人)	23,858	21,147	25,372	22,526	23,455	24,137
	セミナー等参加者※ (人)	372	261	400	191	228	138
	H P アクセス (件)	8,507	9,795	5,622	7,402	7,134	6,314

※兵庫県史セミナー、巡回展示セミナー(21年度を除く)、歴史資料解説講座等の参加者

兵庫県公館県政資料館（歴史資料部門）
北玄関からお入りください。

〒650-8567
神戸市中央区下山手通4丁目4番1号
電話（078）362-4133

6 業務日誌

- 21 4 15 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（略称「全史料協」）近畿部会平成21年度第1回（通算第49回）運営委員会出席（大野課長補佐兼歴史資料係長 奥村主査 奈良 奥奈良市 奈良県立図書館）
- 4 21 平成20年度監査及び平成21年度全史料協近畿部会第22回役員会出席（中村文書課副課長 奥村 奈良奥奈良市 奈良県立図書館情報館）

- 22 1 5 第13回県政資料館収蔵資料特別展示「後世に伝える阪神・淡路大震災の記録―震災関連文書―」開催（～27）
- 3 31 3 9 2 23 2 16 2 9 2 9 2 17 3 31 2 9 3 31 2 9 3 31
- 歴史資料解説講座開催（第1回 神戸生活創造センター）
歴史資料解説講座開催（第2回 神戸生活創造センター）
歴史資料解説講座開催（第3回 神戸生活創造センター）
- 第17回（平成21年度）近畿府県公文書館等実務担当者研究会（大野 奈良奥奈良市 奈良県立図書館情報館）
- 『新兵庫島の歴史』第2号発行

- 5 21 全史料協近畿部会平成21年度（通算第17回）総会及び第101回例会出席（中村 奥村 奈良奥奈良市 奈良県立図書館情報館）
- 6 9 国際アーカイブズの日記念講演会出席（大野 山口県 山口市 山口県立山口図書館レクチャールーム）
- 6 10 平成21年度全国公文書館長会議出席（大野 山口県 山口市 公立学校共済組合山口宿泊所セントコア山口）
- 9 8 兵庫県史セミナー開催（第1回 神戸生活創造センター）
- 9 15 兵庫県史セミナー開催（第2回 神戸生活創造センター）
- 10 17 県政資料館巡回展示「震災資料の15年」開催（淡路市北淡震災記念公園野島断層保存館 展示～11 15）
- 10 30 全史料協近畿部会第103回例会出席（太田主幹兼文書管理係長 大野 大阪府大阪市 大阪市立中央青年センター）
- 11 18 全史料協全国大会参加（奥村 福島県福島市 福島県文化センター・福島県歴史資料館 ～11 19）



編集後記

本号では、古代史から現代まで幅広く取り上げることができました。また、加古川を起点として関連性のある河川船運と海運の論考、前号の編集後記で書いたところの台風第9号災害における歴史資料保全の随筆などもあり、内容もバラエティ豊かな構成となっています。

兵庫県公館県政資料館歴史資料部門運営専門委員には、執筆者を推薦していただき、厚くお礼申し上げます。

新兵庫県の歴史 第3号

平成二十三年三月一日発行

編集 兵庫県公館県政資料館歴史資料部門
発行 兵庫県

〒六五〇―八五六七

神戸市中央区下山手通五丁目十番一号

電話(〇七八)三四―七七七一

印刷 有限会社 エム企画印刷

神戸市兵庫区御崎町二丁目八一八

電話(〇七八)六五一―五五四五